

科目名 (科目番号)	救急救命医学概論 (111731)	教員名 篠田 俊雄	学科等	医療技術	選択	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		木3	B209研究室	
授業概要	救急医療とは疾患や外傷、中毒などに対し緊急に行われる診断治療であり、重症度に応じ一次救急（帰宅可能な患者）、二次救急（入院が必要な患者）、三次救急（二次で対応しきれない重症例）がある。本科目では救急治療における治療優先度などを決める上でのトリアージ・ダックについて学び、次に救助法の基礎的知識及び救急法の概要、心肺脳蘇生法（胸骨圧迫による心臓マッサージや人工呼吸法など）、自動体外式除細動器（AED）の使用法、新生児蘇生法などについて学ぶ。また脳死について法的脳死判定法などについても学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	救急救命医療と災害医療	到達目標： 救急医療と災害医療の概略について説明できる。 学習内容： 一次から三次までの救急医療の違いと医療内容、災害医療におけるトリアージと災害時医療チーム、災害医療における疾病の特徴と治療について学ぶ。				
	2	心肺蘇生	到達目標： 心肺蘇生について説明できる。除細動器、人工呼吸器、AEDの役割と保守管理について説明できる。 学習内容： 心肺停止状態における心肺蘇生のやり方について学ぶ。とくに、除細動器や人工呼吸器の役割と保守点検、AED装置の保守管理と使い方について学ぶ。				
	3	ショック	到達目標： ショックの分類、病態生理、治療について概要を説明できる。 学習内容： ショックの分類と病態生理、治療法の概要について学ぶ。				
	4	急性冠症候群	到達目標： 急性冠症候群の病態生理、検査、治療について概要を説明できる。 学習内容： 急性冠症候群の概念とそれぞれの疾患の病態生理、冠動脈造影やインターベンション、補助循環装置について学ぶ。				
	5	脳血管障害	到達目標： 脳血管障害の病態生理と治療、脳死について概要を説明できる。 学習内容： 脳血管障害の個別の疾患の病態生理と治療、脳死の定義と診断について学ぶ。				
	6	外傷、熱傷	到達目標： 救急領域の外傷、熱傷の病態生理、治療について概要を説明できる。 学習内容： 救急医療で扱う主な外傷、熱傷の病態生理と治療法の概要について学ぶ。				
	7	中毒	到達目標： 救急領域の中毒性疾患の病態生理、治療（特に血液浄化療法）について概要を説明できる。 学習内容： 救急医療で扱う主な中毒性疾患の病態生理と治療、特に血液浄化療法の適用について学ぶ。				
	8	熱中症、偶発低体温症	到達目標： 熱中症、偶発低体温症の病態生理、治療法について概要を説明できる。 学習内容： 熱中症、偶発低体温症の病態生理、治療法の概要について学ぶ。				
成績評価の方法・基準	期末試験（100%）						
教科書	臨床工学技士標準テキスト(第3版)		小野哲章		金原出版		
参考図書	標準救急医学(第5版) 図解救急ケア(第2版)		日本救急医学会 芦川和高		医学書院 学研		
教員からのメッセージ	教科書で予習し、配布資料のポイントを中心に復習することにより学習効率が向上します。						